

令和8年度 第2回 東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年6月17日（水） 午後13時20分から午後15時まで
- 2 開催場所 東小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 小名木 秀雄、今中 秀裕、中川 清子、杉山 晴康、中村 将義、
鈴木 憲人、松井 育子
- 4 欠席委員 林 左和子、曾布川 洋平
- 5 学 校 安川 剛史（校長）、中谷 佳主枝（教頭）、
船越 裕康（CS担当教職員）、原 真衣子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 一人
- 7 会議録作成者 CSディレクター 原 真衣子
- 8 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、杉山委員が本日の議長を務めることを申し出て、全員異議なくこれを承認した。
- 9 協議事項
（1）参観会視察について
（2）本年度教育の重点について「見つめる力」「かかわる力」
（3）課題の整理と改善の方向性について
（4）学校評価について
- 10 会議記録
司会のCS担当教職員から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）参観会視察について

■ 熟議

- 子供たちはとても元気な様子だった。保護者も参加する授業が良いと思った。（今中委員）
- 道徳の授業でちくちく言葉について学習する様子を見た。放課後児童会でも、ちくちく言葉は使わないようにと指導することがある。以前と比べて子供たちが少しずつ落ち着いてきたように思うので、言葉遣いについても声掛けしていきたい。（中川委員）
- 学年ごとに成長を感じられた。グループ活動が良かった。（松井委員）
- 親子で一緒に作業したり、グループで作業したりと、クラス全員が参加できる授業が多く、雰囲気も良かった。廊下に壁がないクラスは、とても開放感があった。（鈴木委員）
- 学年ごとの変化を感じられる参観会だった。保護者が一緒に授業に参加できるようにする工夫がみられた。（杉山委員）

(2) 本年度教育の重点について「見つめる力」「かかわる力」

(3) 課題の整理と改善の方向性について

■ 熟議

- 参観会を視察したところ、多くのクラスがグループで協力する活動を行っていた。グループ活動などを通して、「かかわる力」を培っていくのは良いと思う。(杉山委員)
- この短時間で子供たちの全てを知ることはできないが、とてもものびのび過ごす様子がみられた。先生たちが求めるものは私たちが思うよりも高く、どうしてもできていないことに目がいってしまうのではないかな。
学校が情報を様々な方法で発信している姿勢が、とてもすばらしいと感じる。(鈴木委員)
- 間違えても大丈夫だと安心できる雰囲気のあるクラスが多かったように思う。私が子供の頃は、間違えるのはだめなこと、恥ずかしいという雰囲気があった。なんでも発言できる、自分の意見を受け止めてもらえると感じられることはとても大事だと思う。(松井委員)
- 先日校外学習で協働センターに子供たちが来てくれたが、初めての場所で緊張していたのか、なかなか部屋に入って来られなかった子がいた。今日は元気に授業に参加している様子が見られて良かった。(今中委員)
- コロナ禍以降、マスクを外せない子供がいるようだ。コミュニケーションをとる際に表情が見えないことが少し心配である。(中村委員)
- 放課後児童会で子供たちと接していて、「やさしい子」、「進んで学習する子」の項目は進んでいるように感じる。「元気な子」の中で気になるのは言葉遣いである。学年が上がるほど強い言葉遣いになり、乱暴な物言いが増える傾向にある。また、部屋で静かに本を読んだりすることを好み、体を動かして遊ぶことが少ない子供が見られる。(中川委員)
- 学校の中ではできていることが、学校の外ではなかなかできないということがある。地域全体がもっと子供を気にかけたり、挨拶したりしていくべきだと思う。今は繊細で自己表現が難しい子供が多いように感じる。「優しい」は「静か」とは違うし、「元気」は「乱暴」とは違う。先生方は子供たちと過ごす時間が長く、気になる部分に目がいってしまうかもしれないが、本当によく見てくれていると思う。(杉山委員)
- 先生方から見た子供たちの実態では、低学年から高学年まで自分の意見を言うのが苦手となっている。現代は会話をする機会も減っている。地域での活動がどんどん縮小され、その上家庭の中での会話も減っている。地域のつながりも家庭内の関係も希薄になっているように感じる。学校では先生がすべての意見を受け入れてくれるという安心感は、子供にとって重要であると思う。(小名木委員)

(4) 学校評価について

- 学年ごとの発達段階に応じて学校評価の項目を設定する。評価を行った結果をもとに次の学校運営協議会で熟議を重ね、今後の改善に生かしていきたいと考えている。

○ 学校支援コーディネーターからの報告

- ・これまで学校が支援を依頼していた習字の講師を、12月からはコーディネーターを通し

て依頼する。

- ・ 4年生を対象に認知症講座を行う予定。また秋以降に身障者の講習会を行いたいと考えている。
- ・ 5、6年のミシンの授業サポーターを集めている。手縫いの指導についても1日に5名ほどサポートに入る予定である。

○ その他

司会から、次回会議は、令和8年9月7日（月）午前9時30分から東小学校会議室で開催する旨の報告があった。